

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年03月29日

計画の名称	兵庫県住宅市街地基盤整備計画（第3期）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	兵庫県											
計画の目標	公共施設整備、居住環境基盤施設整備等を行うことによって、住宅建設事業及び宅地開発事業、住宅ストック改善事業の推進を図り、良好な住宅及び宅地の供給並びに既存の住宅ストックの有効活用の促進を目指す。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	34,153	A	34,153	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3		R7
1	既成市街地及び新市街地における公的・民間住宅及び宅地の供給量 住宅市街地基盤整備事業の進捗に伴う、県下対象団地における公的・民間住宅及び宅地の供給を促進する。 供給戸数 = （県下対象団地における公的・民間住宅の供給戸数）	4300戸	戸	4900戸

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	兵庫県	直接	兵庫県	-	-	宝塚武庫川団地 住宅市街地基盤整備事業(A-1)	河川改修 L=7,500m、道路改築	宝塚市、西宮市						12,000	-	
	A16-002	住宅	一般	兵庫県	直接	兵庫県	-	-	英賀保駅周辺地区 住宅市街地基盤整備事業(A-2)	河川改修 L=2,200m、道路改築 L=2,500m、交差点改良 L=100m	姫路市						11,120	-	
	A16-003	住宅	一般	兵庫県	直接	兵庫県	-	-	国安地区他3団地 住宅市街地基盤整備事業(A-3)	河川改修 L=1,270m	加古川市、稲美町						1,080	-	
	A16-004	住宅	一般	兵庫県	直接	兵庫県	-	-	JR網干駅前周辺地区 住宅市街地基盤整備事業(A-4)	道路改築 L=2,676m	姫路市						4,753	-	
	A16-005	住宅	一般	兵庫県	直接	兵庫県	-	-	菊徳地区他2地区 住宅市街地基盤整備事業(A-5)	道路改築L=960m	稲美町						5,200	-	
											小計						34,153		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						34,153		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 兵庫県住宅市街地基盤整備計画（第3期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・目標数値が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

